

平成22年度 星の宮小学校教育目標

1 本校の教育目標

学 校 教 育 目 標

校訓『さとく』『すなおに』『すこやかに』を基盤に、本校の児童の実態と、
学習指導要領のめざす子ども像から、
『自分から進んでする子、ともにささえあう子』とし、すこやかな星の宮っ子の
育成をめざす。

2 経営方針

学校課題、本年度の研究主題を設定し、授業をはじめ教育活動全体の間を通し、全教職員の共通
理解のもと、感性豊かな児童の育成をめざす。

○「めざす教師像」

- ・子どもの気持ちを理解し、心から子どもを愛せる教師
- ・子どもとともに伸びようとする教師
- ・子ども、保護者、地域の人々に信頼される教師

○「めざす児童像」

- ・自ら学び、主体的に判断できる子の育成
- ・感性豊かな児童の育成
- ・心身ともに健康な児童の育成

学 校 課 題

基礎・基本を大切にし、自ら学び、自分の思いや考えを豊かに表現できる児童の育成
— 学校・家庭・地域との連携を深めながらの豊かな心の育成 —

研 究 課 題

『進んで考え、表し、互いに高め合える児童の育成』
— 考える力を高める言語活動の工夫を通して —

3 本年度の重点努力目標

教育活動全体を通し、一人一人の児童のよさを見つけ、伸ばし、個を大切にしたい指導、支援を通
して、次の児童の育成をめざす。

- 自ら学び、進んで行動できる子
- 他人を思いやり、助け合って仲良く生活できる子
- 自分のいのちを守れる子
- あいさつ、返事のできる子

↑

【三つの約束】

< けじめ・がまん・すばやい行動 >

学 習 指 導

- 一人一人を大切にしながら、協同的な学習を進める中で、基礎・基本の定着を図るとともに、活用力、探究力をはぐくむ。
- 表現力の育成を重視し、発言、発表する力やコミュニケーション能力を高める。
- 確かな学力を保障するとともに学校や地域の特色を生かした体験活動を重視し、創意工夫した特色ある教育活動を推進する。

保健安全活動

- 安全で教育的な環境整備に努め、健康を自ら管理できる子の育成に努める。
- 人命尊重・人権尊重を基盤に安全指導・道徳指導を強化し、事故防止に努める。

学 社 融 合

- 地域・関係諸機関との連携を密にし、いじめ・学校ぎらいに対する適切な対応をするとともに、思いやりの心を育てる。
- 開かれた学校づくりをに努め、学校・家庭・地域社会の連携による教育活動の推進をする。